

南極学カリキュラムへのよくある質問

・ 南極について勉強したことがないのですが大丈夫ですか？

まったく心配ありません。南極学カリキュラムは、南極科学に興味を持った大学院生が勉強を始めるためのプログラムです。物理、化学、生物、地学、数学、地理など、それぞれが得意な分野を活かして南極を学ぶことができます。

・ 南極学カリキュラムは大学院の修了単位として認められますか？

南極学特別講義は大学院共通講義として、南極学特別実習は地球雪氷学実習、地球圏科学演習または大学院共通講義として、その他の講義は通常の専攻科目として、大学院の修了単位に認定されます。

・ 南極学修了証書 (Diploma of Antarctic Science) は何の役に立つのですか？

南極学カリキュラムは、極地科学の世界的な教育組織である国際南極大学 (International Antarctic Institute) に認定された教育プログラムです。国内外の大学に進学したり、研究者として職を求めるときに大きな評価対象となります。また一般企業への就職の際にも、専門分野の修士号に加えて、ユニークな専門教育を修了したことが高く評価されるでしょう。

・ 国際南極大学 (International Antarctic Institute) とは何ですか？

国際南極大学は、オーストラリアのタスマニア大学が中心となって設立された、大学間連携プログラムです。10カ国以上の国から大学や研究機関が参加して、雪氷圏科学に関する教育カリキュラムを共有するシステムを目指しています。北海道大学も国際南極大学の一員であり、環境科学院の学生は世界中の参画機関で開講される講義や実習を無償で履修することができます。くわしくは北海道大学・国際南極大学ホームページ (<http://www.earth.ees.hokudai.ac.jp/IAI/index.html>) をご覧ください。

・ 南極学特別講義を履修するにはどうしたら良いですか？

南極学特別講義ⅠとⅡは、北海道大学・大学院共通講義として開講します。ホームページの情報 (<http://www.hokudai.ac.jp/bureau/gakumu/gclass/mokuji.htm>) を参考にして履修申請してください。

・ 南極学特別講義Ⅱではどんな言語が使われますか？

海外の教授による英語の講義です。早くから英語の講義に慣れ親しむことはとても良い経験になりますし、一線の研究者と英語で交流する絶好の機会です。日本人学生を意識してゆっくりとした英語が使われ、日本人教員によるサポートもあります。

・ スイス氷河実習やサロマ湖海氷実習のくわしい情報はありますか？

ホームページ上 (<http://www.earth.ees.hokudai.ac.jp/IAI/course.html>) で2006-2009年度に実施した実習の様子を紹介しています。是非参考にしてください。

・ スイス実習に参加するにはどうしたら良いですか？

4月に実施する説明会に参加してください。実習内容や日程、参加費用などの詳細を説明します。なおスイス実習への参加は、南極学特別実習Ⅲ (野外行動技術実習) を事前に履修していることが条件になります。



FOUNDED 1876



北大国際南極大学プロジェクト事務局
北海道大学低温科学研究所
〒060-0819 札幌市北区北19条西8丁目

International Antarctic Institute project secretariat, Hokkaido University
Institute of Low Temperature Science, Hokkaido University
Kita 19 Nishi 8, Kita-ku, Sapporo 060-0819, Japan

Web site: <http://www.earth.ees.hokudai.ac.jp/IAI/>